

沖縄学習センター

(コード：47A)

沖縄学習センター案内図

☎098-895-5952



【所在地】〒903-0129 沖縄県中頭郡西原町字千原1
(琉球大学地域国際学習センター棟4・5階)

【交通アクセス】

97番 琉大線(那覇バス) 主な経由地

那覇バスターミナルー牧志ー儀保ー琉大附属病院前ー琉大東口で下車、徒歩約10分

98番 琉大線(琉球バス) 主な経由地

那覇バスターミナルー牧志ーおもろまち駅前ー興南高校前ー真栄原ー冲国大前ー琉大北口駐車場(終点)で下車、徒歩約15分

●沖縄都市モノレール

(経路) 那覇空港駅ー……ー首里駅ー石嶺駅ー経塚駅ー浦添前田駅ーてだこ浦西駅(終点)

※「那覇空港駅」から「てだこ浦西駅」までの標準時間37分。

てだこ浦西駅下車、沖縄学習センターまでタクシーで約15分

【その他連絡事項】

(昼食について)

・土曜日については、琉球大学内の学食をご利用いただけます。

(利用時間: 土 11:30~14:30 ※日曜日は休み)

・沖縄学習センターの近くに飲食店等はありませんので、各自でご用意ください。

科目コード	2668319	授 業 概 要	<p>琉球文化を代表する楽器・三線が、アジアと日本の音楽の架け橋となっていることを振り返り、改めて三線を中心に、琉球芸能はどのように形成されてきたかについて、王国の歴史との関係から説明します。次いで、三線音楽を四つの様式（御前風・昔節・二揚・口説）に分け、それぞれの特徴と鑑賞のポイントを説明します。また、琉球舞踊の動きと音楽との関係、組踊の各役柄と音楽の関係について、見どころ、聴き所を説明します。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 アジアに架ける楽器 三弦～三線～三味線 第2回 琉球芸能の始まり 古琉球～近世 第3回 琉球芸能の確立・発展 近世～近代 第4回 島々の歌のこころ 八重山～沖縄 第5回 御前風様式と昔節様式 第6回 琉球舞踊の構造と鑑賞法 第7回 二揚様式と口説様式 第8回 組踊の「聴き方」 登場人物の性格と出羽の音楽</p> <p>【学生へのメッセージ】 沖縄に暮らす人の多くは歌や踊りが大好きです。しかし、歌うこと、踊ることが大好きなあまり、芸能の意味や多様な表現の在り方について考える、人は希なようです。歴史を考え、音を考えることによって、新しい理解の地平を広げていきましょう。</p> <p>【受講前の準備学習等】 (1) 琉球古典音楽のCDや組踊のDVDなどを試聴しておいてください（部分でも良い）。 (2) 参考図書を紹介しますので、興味がある人は読んでおくと、授業の理解に役立ちます。</p> <p>【成績評価の方法】 授業の学習状況（4点）と試験（96点）により評価します。試験は、授業時間ごとに復習テストを行います（各12点×8回）。ノートの閲覧は自由です。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 ・琉球の音楽を考える―歴史と理論と歌と三線（金城厚／榕樹書林／¥2,970／ISBN=9784898052358）</p>
学習センター(コード)	47A		
クラスコード	K		
科目名	琉球三線音楽の歴史と鑑賞		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	320		
定員	40名		
担当講師	カネシロ アツミ 金城 厚 沖縄県立芸術大学名誉教授		
日程実施時間	4月12日(土) 第1時限 10:00～11:25 試験・レポート等 11:25～11:30 第2時限 11:40～13:05 試験・レポート等 13:05～13:10 第3時限 14:00～15:25 試験・レポート等 15:25～15:30 第4時限 15:40～17:05 試験・レポート等 17:05～17:10 4月13日(日) 第1時限 10:00～11:25 試験・レポート等 11:25～11:30 第2時限 11:40～13:05 試験・レポート等 13:05～13:10 第3時限 14:00～15:25 試験・レポート等 15:25～15:30 第4時限 15:40～17:00 試験・レポート等 17:00～17:10		
実施会場	沖縄学習センター 大講義室		

科目コード	2668351	授 業 概 要	<p>私たちの日常生活には「からだ」の情報を使う場面が多くあります。例えば、病院での心電図検査や超音波エコー検査では、内臓の働きという情報を取り出して病気の診断に活用しています。指紋や顔といった身体の形の情報は、家の扉やスマートフォンの鍵として活用されたり、事件や事故の捜査に活用されたりしています。本講義では、私たちの「からだ」の情報を取り出す技術をやさしく解説します。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 「からだ」の情報とは何か？ 第2回 情報のデジタル表現 第3回 病院の検査で測る「からだ」の情報 (1)：心臓の働き(心電図、血圧) 第4回 病院の検査で測る「からだ」の情報 (2)：内臓の働き(超音波エコー) 第5回 病院の検査で測る「からだ」の情報 (3)：脳の働き(MRI、CT) 第6回 日常生活で使う「からだ」の情報：指紋認証、静脈認証、顔認証 第7回 「からだ」の情報を守る方法：セキュリティ 第8回 まとめ</p> <p>【学生へのメッセージ】 情報技術や人体の仕組みに関する講義ですが、それらの基礎知識のない学生でも理解できる説明を心がけます。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p>
学習センター(コード)	47A		
クラスコード	K		
科目名	「からだ」の情報を取り出す技術		
科目区分	専門科目：情報		
ナンバリング	320		
定員	20名		
担当講師	クニタ イツキ 國田 樹 琉球大学工学部准教授		
日程実施時間	4月12日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 4月13日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	沖縄学習センター 小講義室		

科目コード	2668238	<p>この授業は自分用パソコン持ち込み方式 (BYOD : Bring Your Own Device) で実施します。</p> <p>【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他 (特記事項)】</p> <p>を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。</p> <p>大学では多くの講義でレポートや論文 (学術的な文章) が課されますが、大学入学前までに書いてきた感想文や小論文とは何が違うのでしょうか。</p> <p>この講義では、レポート・論文の要件や組み立て方 (構成)、形式、学術的な文章でよく使われる表現等、レポート・論文を書くときに必要な基本的な事柄を学びます。</p> <p>【授業テーマ】</p> <p>第1回 レポート・論文とは何かを知ろう 第2回 問いを立てよう 第3回 レポートの組み立て方を知ろう 第4回 先行研究を調べよう 第5回 引用の仕方を学ぼう 第6回 アウトラインを作成しよう 第7回 パラグラフを書こう 第8回 お互いのレポートを点検しよう</p> <p>【学生へのメッセージ】</p> <p>大学でレポート・論文を書いたことがない方向けの科目です。他の受講生とともに協力しながら主体的に楽しく学びましょう。</p> <p>【受講前の準備学習等】</p> <p>インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。</p> <p>OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。</p> <p>Microsoft Word (ワード) で文書が作成できるように、Wordの入力操作を練習しておいてください。</p> <p>【成績評価の方法】</p> <p>成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】</p> <ol style="list-style-type: none"> 持参する端末 ご自身で操作可能なノートパソコン又はタブレット (キーボードがあるもの) を持参してください (スマートフォンは不可)。 OSの指定 OSの種類は問いません (Windows、macOS、ChromeOS等)。ただし、講義では講師はWindowsを使用するので、説明はWindowsになることをご了承ください。 ソフトのインストール Wordのソフトを事前に持参する端末にインストールしておいてください。 その他 ・USBメモリスティック (4GB以上) を1本持参してください。 ・ソフトのバージョン指定はありません。 ・教科書 (『失敗から学ぶ大学生のレポート作成法 (第2版)』ひつじ書房) は、事前に購入して、当日持参してください (デジタル教科書も可)。 ・参考図書は、購入不要です。 <p>【教科書】</p> <p>・失敗から学ぶ大学生のレポート作成法 第2版 (近藤裕子・由井恭子・春日美穂/ひつじ書房/¥1,760/ISBN=9784823412479) 教科書の「版」を間違えないようご注意ください。「初版」ではなく、「第2版」を準備してください。</p> <p>【参考書】</p> <p>・この1冊できちんと書ける! 【新版】論文・レポートの基本 (石黒圭/日本実業出版社/¥1,760/ISBN=4534060807)</p> <p>【その他 (特記事項)】</p> <p>この科目は2009~2015年度「基礎科目」に該当します。</p> <p>充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。</p> <p>端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。</p> <p>なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。</p>
学習センター(コード)	47A	
クラスコード	K	
科目名	日本語の文章表現	
科目区分	基盤科目	
ナンバリング	120	
定員	16名	
担当講師	タカハシ ミナコ 高橋 美奈子 琉球大学教育学部准教授	
日程実施時間	4月19日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 4月20日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10	
実施会場	沖縄学習センター 実習室	

科目コード	2668327	<p>民俗学が古くから伝わる人々のくらしを研究対象とするのは、過去を知ることにより私たちの生きる「今」を考える手がかりとするためです。 本授業では、沖縄の多様な民俗事象のうち、今も日常のくらしの中で目にし、用いる機会の多い祭具や供物といった信仰をめぐる「もの」に焦点をあて、その形式や意味、変容の過程と今日のありようから、沖縄の民俗の特色、そして現代沖縄の生活文化のルーツを解き明かしていきます。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 「もの」の形式は心のあらわれ—沖縄の民俗を学ぶにあたって— 第2回 ヒヌカン（火の神、かまどの神） 第3回 位牌と仏壇 第4回 ウコール（香炉）と線香 第5回 ウチカビ（紙銭）とジューバク（重箱に詰めた供えもの） 第6回 ビンシー（携行用の御願道具）と酒、米 第7回 ソーグワチ（正月）、シチグワチ（盆）の供えもの 第8回 「もの」からみる沖縄の民俗の特色と今</p> <p>【学生へのメッセージ】 日常のくらしの中に存在するさまざまな民俗事象の意味やルーツを解き明かしていくことを通じ、沖縄の民俗を学ぶ楽しみ、知る喜びを味わってもらいたいと思います。</p> <p>【受講前の準備学習等】 (1) 日常のくらしの中にある祭具や供物について関心をもつよう心がけてください。 (2) 「参考書」の項に掲げたものをはじめ、事前に各回のテーマに関連する資料を読んでおいてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 ・御願の道具と供えもの事典（稲福政斉／ボーダーインク／¥2,420／ISBN=9784899823308） ・ヒヌカン・仏壇・お墓と年中行事（稲福政斉／ボーダーインク／¥1,760／ISBN=9784899823773） 書店およびネット通販（Amazon,honto,楽天ブックス等）で入手可能です。 ・「御願じょうず」なひとが知っていること（稲福政斉／ボーダーインク／¥2,200／ISBN=9784899824596） 書店およびネット通販（Amazon,honto,楽天ブックス等）で入手可能です。</p>
学習センター(コード)	47A	
クラスコード	K	
科目名	沖縄の民俗 —信仰とくらし—	
科目区分	専門科目：人間と文化	
ナンバリング	320	
定員	40名	
担当講師	イナフク マサナリ 稲福 政 斉 沖縄国際大学非常勤講師 ／沖縄大学非常勤講師	
日程実施時間	4月19日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 4月20日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	沖縄学習センター 大講義室	

科目コード	2668335	<p>考古学は、モノ（遺跡・遺物）から過去の人類文化を究明する学問であります。考古学研究の歩みを踏まえながら、東アジアの先史文化について、新石器文化を概観し、多様な新石器文化の存在を明らかにします。そして、東アジアの先史文化の共通テーマとして稲作文化の拡散、一方で稲作以前から存在する貝塚遺跡を検討しながら、東アジア先史文化の中での琉球列島を位置づけます。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 考古学とはどのような学問か？中国・日本・沖縄の考古学の歴史と現状 第2回 考古学の方法とは？遺跡・遺物の研究はどのように行われているのか？ 第3回 東アジアの先史（新石器）文化 第4回 東アジアの先史（新石器）文化—多様な先史文化から生まれた中国の文明 第5回 先史稲作文化の広がり 第6回 東アジアの貝塚遺跡 第7回 琉球列島への視点 第8回 まとめ—考古学研究の課題</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p>
学習センター(コード)	47A	
クラスコード	K	
科目名	東アジアの 先史文化と琉球列島	
科目区分	専門科目：人間と文化	
ナンバリング	320	
定員	30名	
担当講師	ゴトウ マサヒコ 後藤 雅彦 琉球大学 国際地域創造学部教授	
日程実施時間	4月19日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 4月20日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	沖縄学習センター 中講義室	

科目コード	2668270	<p>行動経済学は、人間の心理や行動を観察し、その特徴を明らかにすることを通じて伝統的な経済学を再構築しようとする新しい分野で、近年注目を集めています。</p> <p>本講義では、伝統的な経済学の考え方と対比させつつ行動経済学の考え方について学びます。</p> <p>【授業テーマ】</p> <p>第1回 行動経済学とはどのような分野だろう？—人間行動の「クセ」に焦点を当てる新しい経済学</p> <p>第2回 行動経済学とこれまでの経済学はどこが違うのだろうか？—これまでの経済学の人間像「ホモエコノミカス」</p> <p>第3回 直感的で簡便な思考方法と人間行動の「クセ」①—代表性ヒューリスティクスと利用可能性ヒューリスティクス</p> <p>第4回 直感的で簡便な思考方法と人間行動の「クセ」②—アンカリング効果とフレーミング効果</p> <p>第5回 期待賞金額—くじから得られる平均的な賞金額</p> <p>第6回 どうしてそのくじを買わないの？①—不確実性に対するこれまでの経済学の捉え方「期待効用仮説」</p> <p>第7回 どうしてそのくじを買わないの？②—これまでの経済学の捉え方の限界「アレのパラドックス」</p> <p>第8回 どうしてそのくじを買わないの？③—不確実性に対する行動経済学の捉え方「プロスペクト理論」</p> <p>【学生へのメッセージ】</p> <p>講義では、受講生の皆さんと意見交流を行いながら一部双方向的に実施する予定です。また、1日目の講義の終わりに2日目に実施するレポートの課題内容を提示します。</p> <p>【受講前の準備学習等】</p> <p>シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】</p> <p>成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】</p> <p>授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】</p> <p>・行動経済学入門（筒井義郎他／東洋経済新報社／¥2,640／ISBN=9784492314975）</p> <p>【その他（特記事項）】</p> <p>この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。</p>
学習センター(コード)	47A	
クラスコード	K	
科目名	行動経済学	
科目区分	導入科目：社会と産業	
ナンバリング	220	
定員	30名	
担当講師	ホリ カツヒコ 堀 勝彦 琉球大学 国際地域創造学部准教授	
日程実施時間	5月10日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 5月11日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	沖縄学習センター 中講義室	

科目コード	2668289	<p>近年は、知的財産に関するトラブルが増え、企業からは知的財産に直接携わる職種はもちろん、これまで知的財産と関わりがなかった職種でも、知的財産に関する知識・能力をもつ人材が求められるようになっていきます。しかし、そのような知識・能力をもつ人材は少ないため、少しでも知的財産に関する知識を身に付けてもらうことを目指します。</p> <p>【授業テーマ】</p> <p>第1回 知的財産権の種類と概要</p> <p>第2回 ブランドの保護と知的財産権の活用</p> <p>第3回 企業における特許権の活用と侵害事件①</p> <p>第4回 企業における特許権の活用と侵害事件②</p> <p>第5回 著作物と著作権（人格権）の種類</p> <p>第6回 著作権の侵害とは？（著作物の利用行為と著作権の制限）</p> <p>第7回 企業における特許権の活用と侵害事件③</p> <p>第8回 企業における特許権の活用と侵害事件④</p> <p>【学生へのメッセージ】</p> <p>各回のテーマは、受講生の理解度や興味の度合いによって、変更する場合があります。</p> <p>知的財産管理技能検定や弁理士試験に興味があれば、是非お知らせください。</p> <p>【受講前の準備学習等】</p> <p>次の資料をインターネットから無料でダウンロードできますので、予習として事前に読んでください。</p> <p>・特許庁『工業所有権法（産業財産権法）』逐条解説※特許庁HP</p> <p>・特許庁『産業財産権法』法令改正の解説※特許庁HP</p> <p>・文化庁『著作権テキスト』※文化庁HP</p> <p>【成績評価の方法】</p> <p>成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】</p> <p>教科書は使用しません。</p> <p>【その他（特記事項）】</p> <p>この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。</p>
学習センター(コード)	47A	
クラスコード	K	
科目名	初歩からの知的財産	
科目区分	導入科目：社会と産業	
ナンバリング	220	
定員	40名	
担当講師	オオクボ ヒデト 大久保 秀人 沖縄国際特許商標事務所代表／ 弁理士	
日程実施時間	5月10日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 5月11日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	沖縄学習センター 大講義室	

科目コード	2658569		この授業は自分用パソコン持ち込み方式 (BYOD : Bring Your Own Device) で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他 (特記事項)】 を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。
学習センター(コード)	47A		
クラスコード	K		
科目名	心理学実験 1		
科目区分	専門科目：心理と教育		心理学の基礎的な実験の中から3つの実験 (目撃者証言、ミューラー・リヤー錯視、心理尺度) を行います。受講者は、それらの実験に実験者および参加者 (協力者) として参加し、得られた結果をレポートにまとめます。授業を通して、心理学の実験方法、データ整理、レポートの書き方等について学びます。受講生は、原則として8回の授業すべてに出席し、3つの実験それぞれについてレポートを提出する必要があります。
ナンバリング	320		
定員	20名		【授業テーマ】 第1回 心理学実験の概要、レポートの書き方等の説明 第2回 実験1「目撃者証言」の実施 第3回 実験1「目撃者証言」のデータ整理・分析とレポート執筆指導 第4回 実験2「ミューラー・リヤー錯視」の実施 第5回 実験2「ミューラー・リヤー錯視」のデータ整理・分析とレポート執筆指導 第6回 実験3「心理尺度 (一対比較法、順位法、評定尺度法)」の実施 第7回 実験3「心理尺度 (一対比較法、順位法、評定尺度法)」のデータ整理・分析とレポート執筆指導 第8回 まとめとレポート執筆指導
担当講師	イムラ ヒロコ 井村 弘子 沖縄国際大学名誉教授		
日程実施時間	5月10日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 5月11日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25		【学生へのメッセージ】 実験の実施、結果のまとめ、レポートの作成等にパソコンを使用しますので、基本的なパソコン操作 (エクセル、ワード等) を習得しておいてください。 【受講前の準備学習等】 インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義 (概論、研究法、統計学など) を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論 (24)」、「心理学研究法 (20)」、「心理学統計法 (21)」を視聴してください。
実施会場	沖縄学習センター 実習室		
		授 業 概 要	【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 ノートパソコンを持参してください。 2. OSの指定 種類は問いません (Windows、macOS、ChromeOS等)。 3. ソフトのインストール ・ブラウザはMicrosoft Edge (エッジ)、Google Chrome (クローム)、Mozilla Firefox (ファイアーフォックス)、Safari (サファリ) のいずれかが必要です。 ・Wordが必要。 ・Excelが必要。 4. その他 ・マウス、USBメモリ (実験データ保存用) 及び学生証を持参してください。 ・ソフトのバージョン指定はありません。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他 (特記事項)】 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。 心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。

科目コード	2668300	授	少子高齢社会が進展し人生100年時代が予想される中、高齢期の特徴及び正しい老化の過程を理解することは、生涯発達の視点からますます重要なものとなっています。本授業では、老年学に関する研究知見を踏まえ、主観的幸福感及び健康寿命の背景要因等に関する理解の深化を主な内容としています。「生涯発達」を共通のコンセプトとして、講義及び議論を通して学びを深めます。
学習センター(コード)	47A		
クラスコード	K		
科目名	老年学への招待		
科目区分	専門科目：生活と福祉	業	【授業テーマ】 第1回 高齢者のイメージと特徴 第2回 健康長寿者の特徴 第3回 高齢期のライフイベントと課題 第4回 老化理論と寿命 第5回 老化と生涯発達 第6回 生きる意味と生きがい 第7回 死の準備教育 第8回 主観的幸福感の背景要因
ナンバリング	320		【学生へのメッセージ】 日本人の平均寿命は女性87.26歳、男性81.09歳と着実に寿命が延びていますが、正しい老化の過程は十分に理解されていないのが現状です。「生涯発達の視点」から老化を捉え、健康長寿や主観的幸福感の背景要因について考えます。
定員	25名	概	【受講前の準備学習等】 健康長寿や生きがい等について、シラバスの内容から判断して、事前の自己学習に努めてください。
担当講師	シモジ トシヒロ 下地 敏洋 元琉球大学教授		【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
日程実施時間	5月17日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 5月18日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10	要	【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
実施会場	沖縄学習センター 中講義室		【参考書】 ・東大がつくった高齢社会の教科書（東京大学高齢者社会総合研究機構 編／東京大学出版／¥1,980／ISBN=9784130624183） ※書店、ネットでの購入が可能です。 ※授業で、教科書の内容について、詳細な読み合わせや確認は予定しておりません。

科目コード	2658640	<p>この授業は自分用パソコン持ち込み方式 (BYOD : Bring Your Own Device) で実施します。</p> <p>【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他 (特記事項)】</p> <p>を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。</p> <p>心理学の基礎的な実験3種を行います。皆さんはそれらの実験を「実験者」や「参加者 (協力者)」として経験し、さらにその結果をレポートにまとめます。受講生の皆さんは、原則として 8回の授業すべてに出席し、3つの実験それぞれについてレポートを提出する必要があります。</p> <p>【授業テーマ】</p> <p>第1回 心理学実験とは 第2回 実験1「鏡映描写」の実施と解説 第3回 統計的分析、レポートの書き方 第4回 実験2「ストループ効果」の実施 第5回 実験2「ストループ効果」の解説 第6回 実験3「SD法」の実施 第7回 実験3「SD法」の解説 第8回 実験の計画立案、レポート執筆指導</p> <p>【学生へのメッセージ】</p> <p>この実習は、参加者や実験者の経験を重視します。実験を実施する立場と実施される立場の両方を経験し、心理学実験の理解を深めていただく機会になればと考えています。</p> <p>【受講前の準備学習等】</p> <p>インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。</p> <p>OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。</p> <p>シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。</p> <p>なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義 (概論、研究法、統計学など) を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論 (24)」、「心理学研究法 (20)」、「心理学統計法 (21)」を視聴してください。</p> <p>【成績評価の方法】</p> <p>成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】</p> <ol style="list-style-type: none"> 持参する端末 ノートパソコンを持参してください。 OSの指定 種類は問いません (Windows、macOS、ChromeOS等)。 ソフトのインストール ・ブラウザはMicrosoft Edge (エッジ)、Google Chrome (クローム)、Mozilla Firefox (ファイアーフォックス)、Safari (サファリ) のいずれかが必要です。 ・Wordが必要。 ・Excelが必要。 その他 ・マウスを持参してください。 ・ソフトのバージョン指定はありません。 ・レポートはメール等を介して提出してもらいます。基本的に皆さんが何かをプリントアウトする機会はないとおもいますが、仮にプリントアウトが必要になった場合、学習センターにプリンターはありませんので、自宅やコンビニ等で印刷してください。 <p>【教科書】</p> <p>授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他 (特記事項)】</p> <p>充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。</p> <p>端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。</p> <p>なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。</p> <p>心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。</p> <p>なお、色識別を要する実験課題「ストループ効果」があります。</p>
学習センター(コード)	47A	
クラスコード	K	
科目名	心理学実験3	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	20名	
担当講師	ヤマダ キョウコ 山田 恭子 琉球大学 グローバル教育支援機構 アドミッション部門准教授	
日程実施時間	5月17日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 5月18日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25	
実施会場	沖縄学習センター 実習室	

科目コード	2668343	授 業 概 要	<p>近世の琉球国時代（1609年～1879年）における琉球の政治・経済・社会に関係する古文書を取りあげ、それらを読み解くことで、琉球史の多様な局面を講義します。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 琉球・沖縄歴史の全体的推移 第2回 蔡温の「自叙伝」、「御教条」に見る琉球社会 第3回 「渡唐人へ仰せ渡し」に見る対清国関係 第4回 「御普請日記」に見る首里城修築をめぐる社会状況 第5回 三司官「伊江親方日記」に見る政治社会状況（1） 第6回 三司官「伊江親方日記」に見る政治社会状況（2） 第7回 「大島筆記」、「廻文」に見る庶民の生活状況 第8回 庶民史料の意義、全体のまとめ</p> <p>【学生へのメッセージ】 近世の琉球国時代（1609年～1872年）は、日本（薩摩藩・江戸幕府）と中国（明清）との複雑な政治関係をもつ時代でした。かつては「暗い時代」として捉えられていましたが、近年では多様な局面が解明されています。受講生の皆さんが抱く琉球史像を問い直す機会になることを期待します。</p> <p>【受講前の準備学習等】 事前に概説書（『新版県史』47 沖縄県の歴史』山川出版社）または『沖縄県史 図説編 前近代』（沖縄県教育委員会）を一読しておいてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p>
学習センター(コード)	47A		
クラスコード	K		
科目名	古文書の語る琉球史		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	320		
定員	40名		
担当講師	トミヤマ カズユキ 豊見山 和行 琉球大学名誉教授		
日程実施時間	5月24日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 5月25日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	沖縄学習センター 大講義室		

科目コード	2668360	授 業 概 要	<p>本講義では、植物の中でも特に被子植物の多様性とその進化について様々な角度から学びます。植物の多様性と進化についての理解を深めるために、植物の形態と機能、動物や菌類と植物との共生、島における進化などを順に学習していきます。具体的な植物の例としては、可能な限り、沖縄をはじめとした琉球列島の植物を取り上げます。さらに、植物多様性の危機と保全を含むさまざまなトピックスを取り上げ、自ら植物を観察する目を養う学びとすることを目指します。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 今なぜ植物を学ぶのか？：その定義・特徴・魅力と楽しみ方 第2回 植物の形態と機能 第3回 植物の多様性と進化 第4回 琉球列島の植物概説 第5回 植物と共生 第6回 島の植物生態学 第7回 植物の保全 第8回 植物を巡る物語</p> <p>【学生へのメッセージ】 植物を含む生物全般に対して興味を有することが望ましいですが、授業を通して新たに興味を持てるようであれば履修を歓迎します。授業を履修した後、これまでとは違った見方で植物を観察できるようになることを期待しています。</p> <p>【受講前の準備学習等】 ・身近な植物を観察し、植物図鑑等を用い、植物名を調べてみてください。近年、生物判別アプリ等も充実していますので、アプリの使用も推奨します（iNaturalist, Pl@ntNet等）。 ・進化や生態学全般に関する本で、自分が興味を持てる本を1冊以上選び、事前に読んでこの分野の考え方の把握に努めてください。内容は植物に限らず生物全般、動物でも構いません。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 ・花と動物の共進化をさぐる：身近な野生植物に隠れていた新しい花の姿（種生物学会／文一総合出版／¥2,970／ISBN=9784829962084） ・琉球の樹木—奄美・沖縄—八重山の亜熱帯植物図鑑（大川智史、林将之／文一総合出版／¥6,050／ISBN=9784829984024） ・沖縄の身近な植物図鑑（林将之、名嘉初美／ボーダーインク／¥4,950／ISBN=9784899824350） ・ダーウィン「進化論の父」の大いなる遺産（鈴木紀之／中央公論新社／¥1,100／ISBN=9784121028136） ・多様な花が生まれる瞬間（奥山雄大／慶應義塾大学出版会／¥2,640／ISBN=9784766423006）</p>
学習センター(コード)	47A		
クラスコード	K		
科目名	植物の多様性と進化		
科目区分	専門科目：自然と環境		
ナンバリング	320		
定員	30名		
担当講師	ワタナベ ケンタ 渡邊 謙太 国立沖縄工業高等専門学校 技術長		
日程実施時間	5月24日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 5月25日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	沖縄学習センター 中講義室		

科目コード	2668246	授 業 概 要	<p>世間では数学が嫌いな人が多いですが、それは、数学という難しい記号や計算が出てきて何をやっているのか理解できないことをやっているようなイメージがあるからではないでしょうか。ところが、数学的に考えるというのは、自分が何をやっているのか、きちんと理解しながら考えるということなのです。問題をなんとなく捉えるのではなく、何を意味しているのかきちんと定義して考えていくことなのです。</p> <p>数学的に考えるのは、実はとても楽しいことだと理解いただけると思います。</p> <p>【授業テーマ】</p> <p>第1回 誕生日当てカードの秘密：誕生日を当てるカードがあるけど、どんな仕組みなのか。</p> <p>第2回 簡単な確率の問題を考えよう：라이어ゲームにも登場したゲーム</p> <p>第3回 階段の上り方をどうやって数えようか：漸化式という考え方</p> <p>第4回 天国への道：論理的に考えるのは楽しい。</p> <p>第5回 素数って役にたつの？</p> <p>第6回 人生を支配する曲線：私たちの人生のほとんどが、ある曲線に支配されている。</p> <p>第7回 数列の和の公式を暗記するのは苦しいけど、公式を導くのはすごく楽しい。</p> <p>第8回 国の借金1000兆円越え、国民一人当たり約1000万円って大丈夫なの？日本を救おう！！小学生でもわかる等式から驚くべき事実が。</p> <p>【学生へのメッセージ】</p> <p>毎時間、異なるテーマを扱いますが、全体を通して「数学的に考える」ということで一貫しています。わかるということがとても楽しいことだということを実感して欲しいと思っています。</p> <p>【受講前の準備学習等】</p> <p>中学校で習った内容（素因数分解、平方根など）を復習しておいてください。</p> <p>【成績評価の方法】</p> <p>成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】</p> <p>ノートを持参してください。</p> <p>【教科書】</p> <p>授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他（特記事項）】</p> <p>この科目は2009～2015年度「基礎科目」に該当します。</p>
学習センター(コード)	47A		
クラスコード	K		
科目名	暮らしに役立つ 楽しい数学		
科目区分	基盤科目		
ナンバリング	120		
定員	30名		
担当講師	ヒノクマ タカノリ 日熊 隆則 元琉球大学准教授		
日程実施時間	5月31日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 6月1日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	沖縄学習センター 中講義室		

科目コード	2668254	授 業 概 要	<p>多様な事例から、子どもはなぜ荒れるのかに迫ります。ポイントは、子どもの言動を読み取り理解できるからです。そして言動に隠されていたものを明らかにします。次になぜ落ち着かず、暴力を振るうのか。それは幼児期からの育ち、ライフヒストリー（生育歴）と深く関わりがあることに迫るものです。発達障害の特性や感情コントロールに苦しむ子どもについての例も出てきます。子どもの心理を読みながら、自分の人生を振り返る一面を持った授業です。</p> <p>【授業テーマ】</p> <p>第1回 事情を背負った子ども、大人は敵だった</p> <p>第2回 すれ違う大人と子どもの幸せ、さよなら家族</p> <p>第3回 寂しい放課後、友達のいる学校</p> <p>第4回 発達障害、感情コントロールに苦しむ子ども</p> <p>第5回 否定の中の肯定、格差社会を生きる三銃士</p> <p>第6回 ある少女の叫び、詩を書くことでモニタリング</p> <p>第7回 思春期（中学生）の葛藤、私は生きている値打ちがあるのか</p> <p>第8回 まとめ、あなたはなぜこんな大人になったのか</p> <p>【学生へのメッセージ】</p> <p>この講義は多様な子どもの事例について、説明だけでなくクイズが出てきます。答えをひとり、あるいは共同で楽しく学んでいくものです。</p> <p>【受講前の準備学習等】</p> <p>事前に教科書を準備し、読んでおいてください。当日はこの本を使います。</p> <p>【成績評価の方法】</p> <p>成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】</p> <p>教科書を当日持参してください。毎時間テキストを読むなど、活用します。</p> <p>【教科書】</p> <p>・子どもの願い いじめVS12の哲学（丹野清彦／高文研／¥1,650／ISBN=9784874986479）</p> <p>【その他（特記事項）】</p> <p>この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。</p>
学習センター(コード)	47A		
クラスコード	K		
科目名	荒れる子どもの ナゾを解く		
科目区分	導入科目：心理と教育		
ナンバリング	220		
定員	40名		
担当講師	タンノ キヨヒコ 丹野 清彦 琉球大学非常勤講師		
日程実施時間	5月31日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 6月1日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	沖縄学習センター 大講義室		

科目コード	2658615	<p>この授業は自分用パソコン持ち込み方式 (BYOD : Bring Your Own Device) で実施します。</p> <p>【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他 (特記事項)】</p> <p>を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。</p> <p>心理学の基礎的な実験2種を行います。皆さんはそれらの実験を「実験者」や「参加者 (協力者)」として経験し、さらにその結果をレポートにまとめます。受講生の皆さんは、原則として8回の授業すべてに出席し、2つの実験それぞれについてレポートを提出する必要があります。</p> <p>【授業テーマ】</p> <p>第1回 心理学実験とは 第2回 実験1「心的回転」の実施 第3回 実験1「心的回転」の解説 第4回 統計的分析、レポートの書き方 第5回 実験2「自由再生による記憶の系列位置効果」の実施 第6回 実験2「自由再生による記憶の系列位置効果」の解説 第7回 統計的分析、レポートの書き方 第8回 実験の計画立案、レポート執筆指導</p> <p>【学生へのメッセージ】</p> <p>パソコンを使用して実験、データ分析、レポート作成を行います。エクセル、パワーポイントを使いますので、あらかじめ操作に慣れておいてください。</p> <p>【受講前の準備学習等】</p> <p>インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。</p> <p>OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。</p> <p>シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。</p> <p>なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義 (概論、研究法、統計学など) を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論 (24)」、「心理学研究法 (20)」、「心理学統計法 (21)」を視聴してください。</p> <p>【成績評価の方法】</p> <p>成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】</p> <ol style="list-style-type: none"> 持参する端末 ノートパソコンを持参してください。 OSの指定 種類は問いません (Windows、macOS、ChromeOS等)。 ソフトのインストール ・ブラウザはMicrosoft Edge (エッジ)、Google Chrome (クローム)、Mozilla Firefox (ファイアフォックス)、Safari (サファリ) のいずれかが必要です。 ・PowerPointが必要です。 ・Excelが必要です。 その他 ・USBメモリ (実験のデータ保存用) 及び学生証を持参してください。 ・ソフトのバージョン指定はありません。 ・マウスの使用を推奨します。 <p>【教科書】</p> <p>・心理学実験を学ぼう! (小河妙子・斉藤由里・大澤香織 (編) / 金剛出版 / ¥2,420 / ISBN=9784772411608)</p> <p>【その他 (特記事項)】</p> <p>充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。</p> <p>端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。</p> <p>なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。</p> <p>心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。</p>
学習センター(コード)	47A	
クラスコード	K	
科目名	心理学実験2	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	20名	
担当講師	フルカワ タカシ 古川 卓 琉球大学 保健管理センター教授	
日程実施時間	5月31日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 6月1日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25	
授業概要		
実施会場	沖縄学習センター 実習室	

科目コード	2668262	授 業 概 要	<p>児童期の発達障害、思春期青年期のひきこもりなど様々な問題、成人してからの統合失調症やうつ病など、現代社会で数多くとりあげられるメンタルヘルスの問題をテーマに講義していきます。特に、それらの分野に関する支援実践の現状について触れながら、かつ演習を交えながら講義を進めていきます。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 成人のメンタルヘルス (1) 第2回 成人のメンタルヘルス (2) 第3回 成人のメンタルヘルス (演習1) 第4回 成人のメンタルヘルス (演習2) 第5回 子どものメンタルヘルス (1) 第6回 子どものメンタルヘルス (2) 第7回 子どものメンタルヘルス (演習1) 第8回 子どものメンタルヘルス (演習2)</p> <p>【学生へのメッセージ】 一方的な講義だけではなく、グループワークや演習を含めた学習を進めていきます。</p> <p>【受講前の準備学習等】 『ブラックジャックによろしく (9巻～12巻)』(佐藤秀峰著)を読んで来てください(ネット上で無料閲覧可能・「ブラックジャックによろしく」で検索してみてください)。この漫画の登場人物の立場とその立場に関わるその人の考え方について整理しておいてください。授業でワークをします。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況(グループワーク、演習なども含みます)及び試験の評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他(特記事項)】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。</p>
学習センター(コード)	47A		
クラスコード	K		
科目名	子どもから大人への 精神保健学		
科目区分	導入科目：心理と教育		
ナンバリング	230		
定員	30名		
担当講師	チナ タカシ 知名 孝 沖縄国際大学 総合文化学部教授		
日程実施時間	6月7日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 6月8日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	沖縄学習センター 中講義室		

科目コード	2668378	授 業 概 要	<p>琉球列島の一部の地域は、その生物多様性の高さから、2021年に世界自然遺産に登録されました。本講義では、琉球列島における生物相の成立や生物多様性保全の取り組みについて概説します。また、生物の多様性は種間関係にも表れているため、その事例を紹介します。さらに、生物多様性を保全するための1つである外来種対策について概説するとともに、沖縄における現状を実習をとおして学習します。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 生物多様性とは何か 第2回 琉球列島における生物多様性の成立 第3回 沖縄でみられる種間関係(実習を含む可能性あり) 第4回 琉球列島における生物の保全と法令 第5回 外来種は何か問題なのか? 第6回 外来種の食性(実習) 第7回 琉球列島における外来種問題 第8回 まとめ</p> <p>【学生へのメッセージ】 琉球列島に限定した生物多様性および保全の話だけでなく、幅広い地域の内容も扱う予定です。日頃から自然環境に興味を持ってもらえると内容がわかりやすいと思います。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 2日目(6月8日)は、生物資料を用いた実習を行いますので、汚れてもよい服装・靴で参加してください。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 ・生物多様性と地球の未来 ―6度目の大量絶滅へ? (太田英利(監修、翻訳)、池田比佐子(翻訳) / 朝倉書店 / ¥3,740 / ISBN=9784254171655) ・いきもの六法 日本の自然を楽しみ、守るための法律(中島慶二(監修)、益子知樹(監修)、山と溪谷社いきもの部(編集) / 山と溪谷社 / ¥1,980 / ISBN=9784635590518)</p> <p>【その他(特記事項)】 実習があります。「学生教育研究災害傷害保険(100円)」に加入している者を対象としていますので、未加入者は必ず前日までに最寄りの学習センターで加入していただきますようお願いいたします。(面接授業開設科目一覧P5参照)</p>
学習センター(コード)	47A		
クラスコード	K		
科目名	琉球列島の 生物多様性と保全		
科目区分	専門科目：自然と環境		
ナンバリング	320		
定員	15名		
担当講師	コバヤシ シュン 小林 峻 琉球大学理学部助教		
日程実施時間	6月7日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 6月8日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	沖縄学習センター 小講義室		

科目コード	2658666	<p>心理検査に関して、基礎理論、種類、方法などについての概説、各種の心理検査について紹介します。その後、2種類の心理検査（Y-G性格検査とバウムテスト）と1種類の心理尺度（タイプA性格）を取り上げ、それらの背景理論、実施方法、結果のまとめ方、解釈の仕方などについて説明します。自らが実際に当該心理検査を受けて、その結果を解釈し、レポートにまとめてください（レポートについては授業時間中に指示します）。受講生は、原則として8回の授業すべてに出席し、3つの実習それぞれについてレポートを提出する必要があります。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 心理検査とはなにか？～心理検査が備えておくべき条件、倫理的配慮、実施方法上の注意 第2回 心理検査が測定する対象～知能、性格、無意識などの概説 第3回 心理検査の結果の解釈に重要な情報 第4回 具体的な心理検査1 Y-G性格検査 第5回 具体的な心理検査2 Y-G性格検査 第6回 具体的な心理検査3 バウムテスト 第7回 具体的な心理検査4 バウムテスト 第8回 具体的な心理検査5 心理尺度（タイプA性格）</p> <p>【学生へのメッセージ】 実際に2つの心理検査と1つの心理尺度を実施し、その結果をレポートにまとめ提出してもらいます。そのレポートによって、成績評価を行います。1つでも提出されなければ単位は取得できません。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。なお、レポートは、単位認定試験成績通知後に返却します。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 授業当日は、定規（10cm程度のもの。直線が引ければ可）、赤鉛筆（赤ペンで可）、4Bの鉛筆、消しゴムを持参してください。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p>
学習センター(コード)	47A	
クラスコード	K	
科目名	心理検査法基礎実習	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	40名	
担当講師	タナカ カンジ 田中寛二 琉球大学 人文社会学部教授	
日程実施時間	6月14日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 6月15日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	沖縄学習センター 大講義室	

科目コード	2668297	<p>今日、テレビやインターネットを通じて「食」や「農業」に関する情報があふれる時代です。 この講義では、第一に地理学の視点から農業と風土との関係、世界の農業と食糧問題、日本の農業および沖縄の農業の地域特性、諸課題と展望についてみていきます。第二には「食文化」をキーワードとして、郷土食と行事にみる食文化の地域性、日本の地形・地質と食文化など我々の日常生活と食文化について様々な視点から考えていきたいと思っています。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 はじめに－農業と風土と地域性－ 第2回 世界の農業と食糧問題を考える 第3回 日本農業の現状と課題、展望 第4回 沖縄農業の現状と課題、展望 第5回 地理学から食文化の地域性について考える 第6回 日本の地形・地質と食文化（1）だし・豆腐・醤油を中心に 第7回 日本の地形・地質と食文化（2）うどん・瀬戸内海の魚介・江戸前の魚介類を中心に 第8回 まとめ－これからの日本農業と食文化－</p> <p>【学生へのメッセージ】 日頃、テレビ、新聞、インターネットの情報を通じて、農業や食文化に関心をもって頂ければと思っています。また、毎回の講義で登場する地名については地図帳で確認してください。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 地図帳（市販のもの、あるいは中学校・高校で使用した古いものでもかまわない。スマホ等の地図アプリ使用可）、ノート、筆記用具、蛍光ペンなど。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。</p>
学習センター(コード)	47A	
クラスコード	K	
科目名	食と農の地理学	
科目区分	導入科目：人間と文化	
ナンバリング	220	
定員	22名	
担当講師	オガワ マモル 小川護 沖縄国際大学 経済学部特任教授	
日程実施時間	6月28日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 6月29日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	沖縄学習センター 小講義室	

科目コード	2668386	授 業 概 要	<p>ヒトは様々な生物と繋がり、関わり合いながら生きています。本科目では、特に沖縄地域を中心に、ヒトに病害を与える寄生虫、衛生動物、海の危険生物について、写真、症例紹介等をまじえて講義・実習を行います。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 「病害動物とは?」「寄生虫と寄生虫病Ⅰ」 第2回 「寄生虫と寄生虫病Ⅱ」「幼虫移行症」 第3回 「沖縄の寄生虫病」「寄生虫考古学」 第4回 「届出が必要な寄生虫病」「寄生虫食中毒」 第5回 「衛生動物とは?」「沖縄の病害動物」 第6回 「海の危険生物」 第7回 「病害動物実習」(マサバからのアニサキス回収等) 第8回 「まとめ」</p> <p>【学生へのメッセージ】 身近に病害動物は溢れており、本授業で使用する映像には「一部衝撃的な場面」が含まれますのでご承知おきください。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 2日目(6月29日)は、生物資料を用いた実習を行いますので、汚れてもよい服装で参加してください。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他(特記事項)】 実習があります。「学生教育研究災害傷害保険(100円)」に加入している者を対象としていますので、未加入者は必ず前日までに最寄りの学習センターで加入して下さるようお願いいたします。(面接授業開設科目一覧P.5参照)</p>
学習センター(コード)	47A		
クラスコード	K		
科目名	沖縄の病害動物		
科目区分	専門科目：自然と環境		
ナンバリング	320		
定員	30名		
担当講師	トウマ ヒロム 當眞 弘 琉球大学大学院 医学研究科准教授		
日程実施時間	6月28日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 6月29日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10		
実施会場	沖縄学習センター 中講義室		

★沖縄学習センター【ライブWeb授業】実施科目(47A)

ライブ Web 授業で実施する科目は以下の2科目です。

対面式ではなく、ご自宅などでパソコンなどを用いてリアルタイムで受講しますのでお間違えのないようご注意ください。

科目コード	4000587	ロジカル・シンキング（論理的思考）とは、物事に対して感覚的に“なんとなく”捉えるのではなく、情報を整理して矛盾がないように順序立てて考え、結論を出す方法を指します。大量の情報が凄まじいスピードで流れる現代において、思い込みや直感、知識に頼らないこの“地頭力”こそが人類にとって一生もののスキルになると、私は信じています。本講義では、豊富な例題・演習を通じて知的トレーニングを積むことを目的としています。
学習センター(コード)	47A	
クラスコード	WK	
科目名	★ロジカル・シンキング入門	【授業テーマ】 第1回 ガイダンス 第2回 論理的思考（ロジカル・シンキング） 第3回 批判的思考（クリティカル・シンキング） 第4回 水平思考（ラテラル・シンキング） 第5回 これまで（トリプル・シンキング）の復習 第6回 俯瞰力 第7回 多面的視野 第8回 まとめ
科目区分	専門科目：情報	【学生へのメッセージ】 講義で扱う問題は、初見で解けなくても全く問題ありません。授業内で受講生に回答を求めたりグループディスカッションを行うこともありませんが、ひとまず自分の頭で考えてみてください。その上で解説を聞き、授業後は問題を見たら解き方を思い出せるようになるまでしっかり復習してください。
ナンバリング	320	【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して、掲載資料等を参考に事前学習を行ってください。また、授業で学習した内容や演習問題などは不明な部分を残さないように復習を行い、理解を深めてください。 受講前に放送大学ウェブサイトの「ライブWeb授業のご案内」のページをご確認ください。
定員	20名	【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
担当講師	ミヤタ リョウタ 宮田 龍太 琉球大学工学部准教授	【受講者が当日用意するもの】 筆記用具。 インターネット環境のあるパソコン、マイク・ヘッドフォン等、Web（Zoom）授業の受講に必要な設定等の準備。
日程実施時間	5月16日(金) 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 5月23日(金) 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 5月30日(金) 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 6月6日(金) 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25	【教科書】 教科書は使用しません。 【参考書】 ・頭のいい人だけが解ける論理的思考問題（野村裕之／ダイヤモンド社／¥1,980／ISBN=9784478119044） ・5分で論理的思考力ドリル（ソニー・グローバルエデュケーション／Gakken／¥1,100／ISBN=9784053049032）
実施会場	ライブWeb授業のため自宅等	【その他（特記事項）】 専用のシステム上で教材・資料を配付します。 Webカメラの準備を必要としません。 「ライブWeb授業」は、Web会議システム（Zoom）を利用した授業と、オンライン授業の利点を活かした新たな授業形態です。 学習センターではなく、ご自宅等でPC等を用いて受講します。 授業当日は、専用のシステムにログインし、各回の仮想の講義室（Zoomミーティング）へもそこから入室します。 また、講義資料や、講師からのお知らせ、後日提出が必要なレポート等、講義時間外に取組みや確認が必要な活動が当該システム上で示される場合があります。 受講の際には必ず当該システムを確認してください。 詳細については、 https://www.ouj.ac.jp/reasons-to-choose-us/anytime-anyone-can-learn-freely/interactive/ を参照ください。

科目コード	4000595	<p>社会や地域の中には多くの困難な課題があり、それを解決するための多くの種（シーズ）も埋まっています。「生命科学」が取り扱う分野においても同様です。</p> <p>本講義では、生物学を基礎として各地域にある生物資源などを「生化学」や「分子生物学」及び新しい学問分野である「バイオインフォマティクス」などを活用し、社会実装していく過程を基礎から応用へと学び、自分の地域に目を向け、有用な資源を社会実装していくことのできる能力を育むことを目標とします。</p> <p>【授業テーマ】</p> <p>第1回 乳酸菌を見つけよう 第2回 見つけた乳酸菌を活用しよう 第3回 沖縄の生物資源とSDGs 第4回 沖縄の生物資源と健康・長寿 第5回 健康で長寿なヒトの腸内細菌叢を調べる～データサイエンスの手法～ 第6回 健康で長寿の秘密は？～バイオインフォマティクスの手法～ 第7回 ミッドカイン～基礎～ 第8回 ミッドカイン～応用～</p> <p>【学生へのメッセージ】 授業中に実施する小テストは、授業に出てきた語句の説明等に関するものです。その場で模範解答が示されますので、復習など自学自習に活用して下さい。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して、掲載資料等を参考に事前学習を行ってください。また、授業で学習した内容や演習問題などは不明な部分を残さないように復習を行い、理解を深めてください。 受講前に放送大学ウェブサイトの「ライブWeb授業のご案内」のページをご確認ください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 インターネット環境のあるパソコン、マイク・ヘッドフォン等、Web（Zoom）授業の受講に必要な設定等の準備。</p> <p>【教科書】 教科書は使用しません。</p> <p>【参考書】 ・Essential 細胞生物学 原書第5版（[監訳] 中村桂子・松原謙一・榎佳之・水島昇/南江堂/¥8,800/ISBN=9784524226825）</p> <p>【その他（特記事項）】 Webカメラの準備を必要としません。 「ライブWeb授業」は、Web会議システム（Zoom）を利用した授業と、オンライン授業の利点を活かした新たな授業形態です。 学習センターではなく、ご自宅等でPC等を用いて受講します。 授業当日は、専用のシステムにログインし、各回の仮想の講義室（Zoomミーティング）へもそこから入室します。 また、講義資料や、講師からのお知らせ、後日提出が必要なレポート等、講義時間外に取組みや確認が必要な活動が当該システム上で示される場合があります。 受講の際には必ず当該システムを確認してください。 詳細については、https://www.ouj.ac.jp/reasons-to-choose-us/anytime-anyone-can-learn-freely/interactive/ を参照ください。</p>
学習センター(コード)	47A	
クラスコード	WK	
科目名	★事例で学ぶ生命科学：基礎と応用	
科目区分	専門科目：自然と環境	
ナンバリング	320	
定員	30名	
担当講師	イケマツ シンヤ 池松 真也 沖縄工業高等専門学校 教授	
日程実施時間	6月13日(金) 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 6月20日(金) 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 6月27日(金) 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 7月4日(金) 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25	
実施会場	ライブWeb授業のため自宅等	